



## ごあいさつ



SK松本ジュニア合唱団  
団長 芦田勝弘

本日は年末を迎え何かとお忙しい中「SK松本ジュニア合唱団2013クリスマスコンサート」にご来場頂きまして誠にありがとうございます。

当合唱団は1993年のSKF(サイトウキネンフェスティバル)が上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、SKの文字を誇りに、地域に愛される合唱団を目指し活動を続け、20年の歴史を重ねるまでになりました。

今年も「スプリングコンサート」や伊那文化会館で開催された「長野県少年少女合唱祭」また、SKF関連事業の「お城deハーモニー」への参加、才能教育世界大会での街角コンサート、東海北陸地区私立幼稚園教育研究長野大会での演奏など充実した活動を行うことができました。

特に、この合唱団を指導して頂いている佐原玲子先生の関係5合唱団300名を超える団員が協同して開催した「佐原玲子と歌の仲間たち」のコンサートでは、先生を通しての合唱団同士の交流を深めることができましたし、松本市から頂いた「芸術文化功労賞」は当合唱団20年の活動が高く評価されたものと感謝しています。

今年のクリスマスコンサートは20周年の節目のコンサートとなり、作曲家・指揮者として幅広く活躍されている佐藤賢太郎先生に委嘱して作って頂いた、初めての当合唱団オリジナルの楽曲、合唱ミュージカル「テンコちゃんの卒業式」を発表できることになりました。

また、現役団員より数の多くなってきた卒団生で構成する「OB・OGオンステージ」など20周年記念のクリスマスコンサートを十分にお楽しみください。

改めて本日のコンサート開催にあたり、ご指導の先生方、キッセイ文化ホール関係の皆様方、またご支援を頂いている多くの方々へ感謝申し上げ、これからもSK松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げましてごあいさつと致します。



キッセイ文化ホール  
館長 出川久雄

本日は、「SK松本ジュニア合唱団2013クリスマスコンサート」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

1994年長野県松本文化会館を拠点に発足したSK松本ジュニア合唱団も、早いもので今年は設立20周年の記念の年を迎えました。現在は、小学生から高校生まで80余名の子供たちで、混声・女声・男声・児童合唱とハーモニーの輪を広げております。サイトウ・キネン・フェスティバルは勿論、その他多くの舞台上で美しいハーモニーを奏でていると伺っております。

今年のクリスマスコンサートでは、20周年記念委嘱作品を佐藤賢太郎さんをお願いして、合唱ミュージカル「テンコちゃんの卒業式」という作品を上演すること、私も今から楽しみにしております。

観客の皆様におかれましては、どうか子供たちをあたたかく見守り、惜しみない応援をお願い申し上げます。